

ぼくのノオト

④6世に棲む人人

選挙では多くの人に来てもらうため、小さくても身近な所に投票所がおかれる。それがワクチンになると、わざわざ遠く慣れない場所での大規模接種となっている。

予約の仕方が解らないからと、窓口に来て予約を希望する高齢者も多い。ネットではないと受け付けられないため、何もしてもらえず帰される人もいる。ワクチンぐらい平等にしてほしいのだが、結局、ネット弱者や車のない人が後回しにされている。

社会のシステムは、時に権力者が下々の民から合法的に搾取をするため、時に人々がまっとうに生きる権利を守るためにあった。発展途上で融通の利かない今のネット社会は、人がそのシステムのパーツになることを要求されてはいないか。

社会の成熟度は、そこに棲む弱者がその真価を知っている。決して町の明るさや、生活の便利さでは判らない。



認定NPO法人 いわき放射能市民測定室

たらちねクリニック

院長 藤田 操